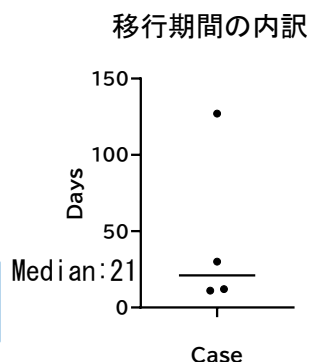
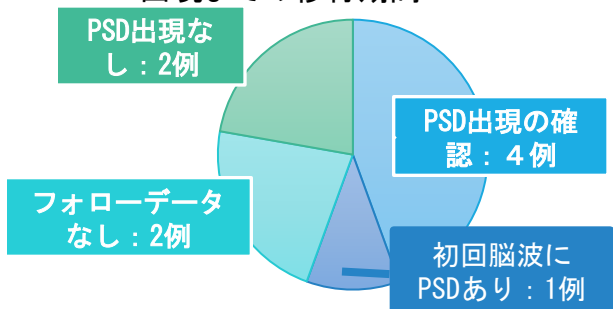


孤発性CJD診断における脳波の変遷に関する検討（中間報告） － PossibleからProbableへ移行した症例の解析

研究分担者：東京科学大学国際医工共創研究院希少神経難病治療薬開発講座 三條伸夫

1. PossibleからProbableへ診断変更となった症例の内訳と PSD出現までの移行期間



Possibleの診断となった645名のうち、継続調査をおこなった382例で、PSDの出現により、Probableへ診断変更となった症例が15例いた。そのうち解析可能であった9名の内訳を左図に示す。初期波形から周期性同期性放電(PSD)への変化が確認できたのは4例のみで、移行期間は中央値21日(11-127日)であった。

2. 診断変更となった症例の内訳

Case (N=9)	Sex	Age	Type	Codon 129	初期波形からGPDsへの移行期間(日)	主治医の診断	サーベイランス委員の診断
1	F	61	sCJD	Met/Met	N/A*	Probable	Probable
2	F	65	sCJD	Met/Met	11	Probable	Probable
3	M	74	sCJD	Met/Met	NC	Probable	Possible
4	M	75	sCJD	N/A	N/A	Probable	Possible
5	F	68	sCJD	Met/Val	127	Probable	Probable
6	M	71	sCJD	N/A	NC	Probable	Possible
7	M	75	sCJD	N/A	0*	Probable	Probable
8	M	55	sCJD	N/A	12	Probable	Probable
9	M	62	sCJD	Met/Met	30	Probable	Probable

sCJD: sporadic Creutzfeldt-Jakob disease, Met: methionine, Val: valine, N/A: not available, NC: not converted to GPDs, EEG: electroencephalogram, GPDs: generalized periodic discharges *: GPDs emerged on the baseline EEG

解 説

- PossibleからProbableへ診断変更となり解析可能であった9名のうち、PSDの出現が確認できたのは4例のみであり、PSDの前駆脳波であるcentral sagittal sporadic epileptiform dischargesは2例で認め、lateralized periodic dischargesは認めなかった。前駆の右派からPSD出現までの期間は中央値21日(11-127日)であった。
- 主治医とサーベイランス委員とのPSD判定の一致率は66.7%となっており、PSDの出現の判定については、判断が困難な場合があると思われる。